



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより

平成24年4月24日 発行

■発行

石川県宝達志水町議会
〒929-1492

石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL(0767)29-8310 (直通)

FAX(0767)29-4623

■編集

宝達志水町議会

広報編集特別委員会

第28号



やわらぎの郷

主な記事

■24年第1回定例会2

■一般質問(6名).....5

■委員会ノート8

■委員会視察報告書10

■町議会日誌12

平成24年度予算可決

総額 135億5,208万6千円

平成24年
第1回

定例会

3月1日~9日

予算編成の基本方針

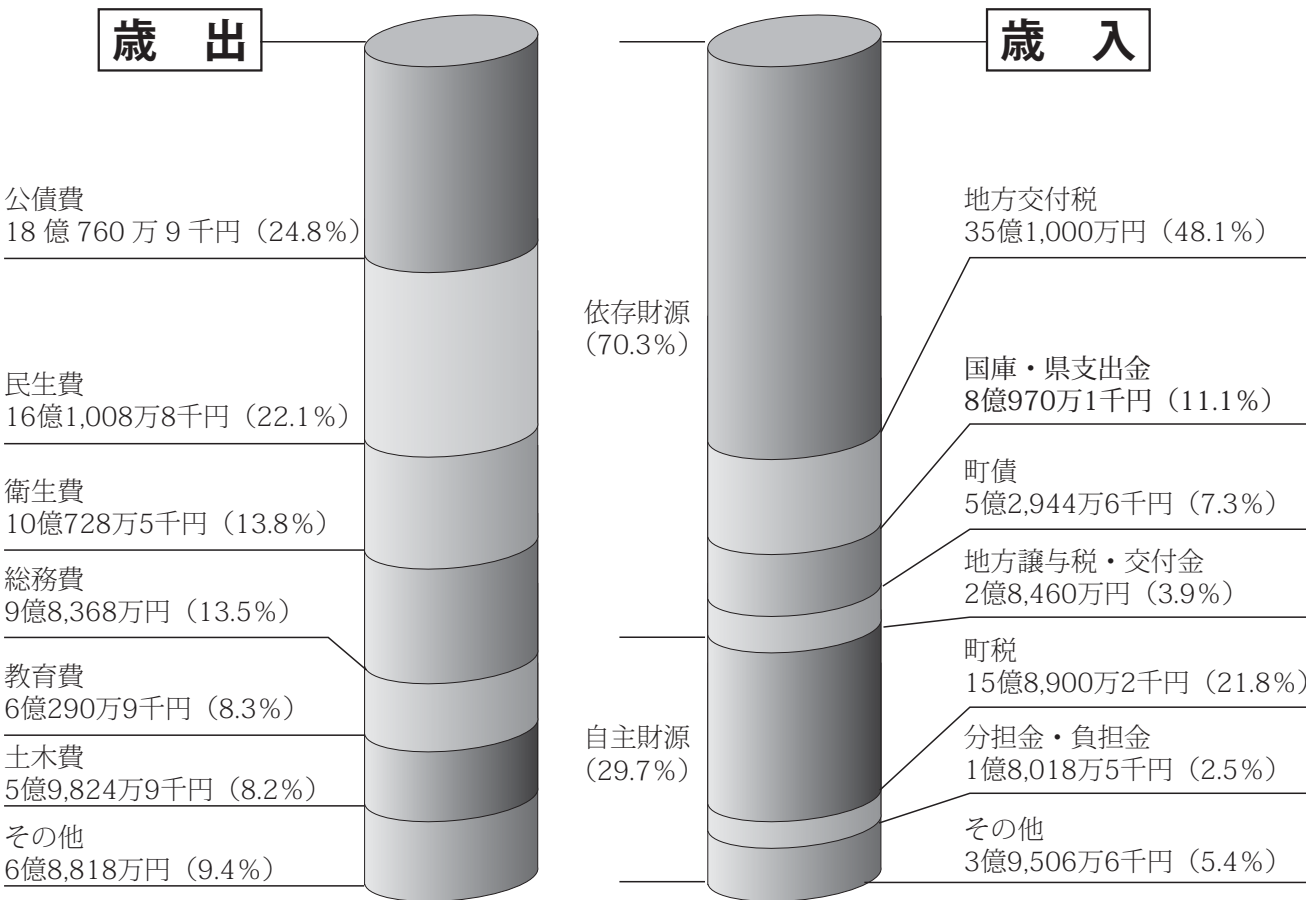
- ① 予算執行の効率化と経費の徹底した節減
- ② 財政健全化判断比率等を見据えた予算編成
- ③ 財政健全化計画の基本理念の堅持
- ④ 第2次行財政改革の着実な実施
- ⑤ 限られた財源の重点配分

歳入の概要

町税は地域経済の動向などを見極め前年度比4.0%の増、地方交付税については5.1%の増を見込む。

町債は、合併振興基金造成事業債の発行が完了したことなどから17.1%の減。繰入金については、公債費の繰上償還を実施するため、減債基金から繰入れを行う。

一般会計予算 72億9,800万円



◎歳出 (その他) の内訳

議会費 1億646万3千円、労働費 3,578万5千円
 農林水産業費 2億4,020万7千円、災害復旧費 200万円
 商工費 5,184万8千円、消防費 2億4,187万7千円
 予備費 1,000万円

◎歳入 (その他) の内訳

使用料及び手数料 5,361万6千円
 諸収入 5,646万3千円、財産収入 415万3千円
 寄附金 83万3千円、繰入金 2億8,000万円
 繰越金 1千円

主な事業・施策

1. 総合的なまちづくりの推進

- ふるさと振興事業費 999万4千円
- 住民基本台帳ネットワークシステム事業 851万8千円

2. 生活環境の整備

- 敷浪駅西口整備事業費 1,020万円
- 新交通政策推進事業費 1,265万6千円
- ごみ収集事業費 3,941万7千円
- 押水総合体育館耐震補強整備事業費 1,365万円



押水総合体育館

3. 保健・医療・福祉の充実

- 予防接種事業費 3,511万4千円
- 母子保健事業費 1,043万5千円
- 健康増進事業費 1,590万2千円
- 社会福祉協議会運営事業費 4,400万円
- 障害者自立支援給付事業費 2億7,762万9千円
- 子ども手当給付事業 2億1,786万円
- 乳幼児及び児童医療給付事業費 1,727万4千円

4. 教育・文化・スポーツの充実

- 小学校施設整備費 1,400万円
- 中学校教育振興費 331万5千円
- 統合中学校建設事業費 6,153万8千円



統合中学校完成イメージ図

5. 産業の振興

- 県営事業負担金（農林） 2,285万円
- 企業誘致対策事業費 3,027万4千円
- 商工団体育成費 1,200万円
- 緊急雇用創出特別事業 2,600万円

6. 都市基盤の整備

- 道路維持管理事業費 1,197万円
- 除雪対策事業費 2,013万8千円
- 道路整備事業費 4,210万円
- 上水道事業建設改良費 4,896万円4千円
- 公共下水道事業建設改良費（樋川処理区） 4,000万円

7. 行財政改革の積極的な推進

- 庁舎改修事業費 4,757万5千円
- 償還元金 16億2,449万3千円
- 情報化推進事業費 1億440万7千円

会計名		24年度予算額	対前年度増減額	増減率	採決状況
一般会計		72億9,800万円	2億6,000万円	3.7%	賛成11人、反対1人
特別会計	国民健康保険	16億4,500万円	1億659万2千円	6.9%	賛成11人、反対1人
	後期高齢者医療	1億8,514万9千円	1,115万7千円	6.4%	賛成11人、反対1人
	介護保険	15億4,396万5千円	8,930万1千円	6.1%	賛成11人、反対1人
	国民健康保険直営診療所	3,736万8千円	241万6千円	6.9%	全員賛成
	ケーブルテレビ事業	6,291万3千円	400万8千円	6.8%	賛成11人、反対1人
企業会計	水道事業	4億6,109万5千円	▲1,455万8千円	▲3.1%	賛成11人、反対1人
	下水道事業	11億122万4千円	▲1,021万4千円	▲0.9%	賛成11人、反対1人
	国民健康保険志雄病院事業	12億1,737万2千円	▲3,684万4千円	▲2.9%	全員賛成

◎平成23年度補正予算

- 一般会計補正予算(第5号)
 - 歳入歳出それぞれに7664万40000円を増額し、76億8830万2000円とするもの
 - 〔賛成11人、反対1人〕
- ほか、次の平成23年度各会計補正予算6件
 - ・国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
 - ・介護保険特別会計補正予算(第3号)
 - ・国民健康保険直営診療所特別会計補正予算(第2号)
 - ・水道事業会計補正予算(第2号)
 - ・下水道事業会計補正予算(第2号)
 - ・国民健康保険志雄病院事業会計補正予算(第4号)

◎条例

- 宝達志水町暴力団排除条例
 - 〔全員賛成〕
- 宝達志水町若者等定住バックアップ条例の一部を改正する条例
 - 〔賛成10人、反対2人〕
- 宝達志水町税条例の一部を改正する条例
 - 〔全員賛成〕
- 宝達志水町国民健康保険条例の一部を改正する条例
 - 〔賛成11人、反対1人〕
- 宝達志水町子ども広場等設置条例の一部を改正する条例
 - 〔全員賛成〕



北川尻子どもの広場

○宝達志水町放課後児童クラブ条例の一部を改

正する条例

- 宝達志水町介護保険条例の一部を改正する条例
 - 〔全員賛成〕
- 町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例
 - 〔賛成11人、反対1人〕
- 宝達志水町課制条例の一部を改正する条例
 - 〔全員賛成〕
- 宝達志水町財産の交換譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例
 - 〔賛成11人、反対1人〕
- 宝達志水町行政財産使用料条例の一部を改正する条例
 - 〔賛成11人、反対1人〕
- 宝達志水町立図書館条例の一部を改正する条例
 - 〔全員賛成〕
- 宝達志水町農林水産事業分担金等徴収条例の一部を改正する条例
 - 〔全員賛成〕

○宝達志水町町営住宅管理条例の一部を改正する条例

- 宝達志水町デマンドタクシー運行事業に関する条例を廃止する条例
 - 〔賛成11人、反対1人〕
- 宝達志水町環境改善センター及び宝達志水町山村広場
 - 〔全員賛成〕



押水農村環境改善センター

○宝達志水町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定の取り消し
〔賛成11人、反対1人〕

◎町道

- 町道路線の廃止
 - 〔全員賛成〕
- 町道路線の認定
 - ・吉野屋5号線
 - ・子浦荒屋2号線
 - 〔全員賛成〕

◎議会議案

- 宝達志水町議会委員会条例の一部を改正する条例
 - 〔町課制条例の改正に伴い、教育厚生常任委員会の所管に保健予防課を追加するもの〕
 - 〔全員賛成〕
- 町長の専決事項の指定について
 - 〔法律上、町の義務に属する損害賠償のうち、その額が1件100万円以下のものの額を定めること、及びこれに伴う和解に関すること〕
 - 〔全員賛成〕

◎人事案件

○教育委員会委員の任命について



勝二信隆氏(63歳) 紺屋町ホ70番地

【略歴】

相見小学校長、志雄中学校長、中能登教育事務所長

【任期】

平成24年3月9日 ~ 平成24年5月9日 (残任期間)

第1回臨時会

2月17日

◎契約案件

○財産の取得 (内部情報システム関連機器等一式購入)
〔全員賛成〕



津田 勤 議員

統合中学校の通学ルートは

教育長

中学校統合準備委員会で協議検討

町政を問う

質問 いっばん

問
統合中学校について。

答
教育長

スクールバス送迎の6kmの範囲は、通学路予定ルートの道のり。

荻谷方面では国道159号の荻島信号機付近。

柳瀬方面は国道249号の羽咋市境付近、及び柳瀬大橋から北へ約50m付近の地点。出浜会館までは約5・5km。

約6kmの集落の意見も伺いながら、中学校統合準備委員会で検討したい。

通学ルート及び整備は、同準備委員会の通学部会で協議検討しており、基本的に、現在、宿の生徒の通学路を通ることを想定している。通学路の設定は、安全第一を

考え、国道は自歩道の走行。横断は信号機のあるところ、無いところは横断歩道を考えている。外

灯の少ない箇所などは、



宿から麦生への通学路

統合までに整備したい。

電車利用は、実際に通学する生徒、保護者の意向で対応したい。通学

方法は、保護者からの届出に基づき、校長が承認

することにしており、冬期間に、自転車通学者が

一時的に電車を利用する場合は、柔軟に対応した

い。



統合中学校の署名運動について

町長

真摯に受け止める



久保喜六 議員

問
①統合中学校建設について。

②オムライスの郷プロジエクトについて。

答
町長

①昨年、町内25カ所で町政懇談会を開催し、町の財政状況及び統合中学校の必要性を説明。建設候補地は押水中学校敷地、

志雄中学校敷地、白虎山公園の3カ所の状況を説明し、今後、議会と相談し決定したいということ

で理解を得たと思つてい

た。

署名運動が行われた事

実は真摯に受け止め、説明不足との意見には、今後の進捗状況を、保護者

をはじめ町民の方に詳細に説明します。

②ふるさと振興室長

②オムライスの郷プロジェクト実行委員会では、4つの基本計画に基づき事業を推進してい

る。

(1)町民参加によるオムライスの郷づくり。

(2)町内飲食店でオムライスを提供する店を増やし、ご当地グルメとしてPRすること、地元食材等の利用拡大を図ること。

(3)一般主婦等が主体となり、オムライスを提供するコミュニティレストランの開店運営。



いしかわ食のてんこもりフェスタに出店

(4)オムライスに関するイベントの開催と、町内外のイベントへの出店・販売により、オムライスの郷、宝達志水町をPRし、町への誘客を図る。

国民健康保険税率の改正は

町長

24年度から段階的に税率を改正する



柴田 捷 議員

問

①国民健康保険財政健全化と介護保険料改定について。

②統合中学校建設について。

③北陸新幹線開業を見据えた交流人口の拡大策について。

答 町長

①本町の国民健康保険財政は、毎年、単年度収支で赤字。これまでは繰越金や基金を取り崩し補填してきたが、基金も底をつき、今後の療養給付に支障をきたすため、24年度から段階的に税率改正を行い、安定化を図る。介護保険料の改定は、第5期介護保険事業計画の中で、第1号被保険者の介護保険料基準額を5700円とした。上昇要因は、介護サービス利用者の増加、介護保険施設の整備、介護報酬の改定等がある。

②統合中学校建設は、町にとつて最も重要な事業。学校は地域の核として、地域住民の思いに格別なものがある。場所の選定は、町民の方すべての賛同は極めて難しいと認識している。建物や敷地の規模、環境条件、周辺体育施設の活用、財政面等から総合的に検討し、議会とも協議のうえ判断した。

建設は、生徒、教職員等が安全で安心して学習出来る建物環境を整備することが大切であること重視し、事業を行っていききたい。

③金沢から40分から50分の距離にある町の立地を活かし、自然、歴史、風土、食などの地域資源を活用した観光地づくりや観光ルートの発信を考えている。



中学校の統合以外も模索したか

町長

広い視点から検討した結果、統合する



小島昌治 議員

問

①中学校統合について。

②国民健康保険税について。

③東日本大震災の被災者の受け入れについて。

答 町長

①統合以外の可能性は、耐震補強を含め、広い視点から検討した。両中学校とも危険建物、生徒数の減少が確実、町公施設統廃合検討委員会及び中学校施設整備検討委員会の統合が必要との意見、学力の維持向上を図るためにも、統合中学校の校舎を建設することと

決めた。統合中学校の必要性や現押水中学校敷地での建設となったことの説明は、小学校保護者、保育所保護者の方に、2月に説明会を実施した。また、中学校統合準備委員会においても、統合中学校開校に向けて状況を説明し、諸準備を進めている。

②本町の国民健康保険財政の維持のため、税率改正する。あまりに高い率での引き上げが必要となつた時には、一般会計から、許す範囲内での法定外繰り入れもやむを得ないと考えている。

③緊急的、一時的に町営住宅や志雄病院官舎、空き家調査で提供可能な住宅等を貸与できるようにしている。引き続き、現体制で可能な限りの支援を行っていききたい。



中学校統合準備委員会より



寶達典久 議員

税の申告受付事務一元化について

町長

利便性に主眼を置き、現状の2カ所で実施

問

① 行財政改革大綱について。
② 各種防災訓練全般について。

答 町長

① 申告の受付事務は、会場の問題、交通弱者への配慮と申告のしやすい環境づくりが肝要。事務の効率化より、当分の間は、申告者の利便性に主眼を置き、2カ所で実施したい。

施設管理業務は、専門部署を設け、一元化を図ることで、限られた職員数や作業資機材を計画的かつ効率的に活用し、適切な管理ができる。

行財政改革の今後の取り組みとして、保育所の指定管理者制度の導入を進めるとともに、公共施設の統廃合や職員定数の適正化にも、計画に従って進めたい。

財政運営の健全化のため、受益者負担の見直し



志雄地区の申告会場（さくらドーム21）

や公共料金の適正化を図るほか、遊休土地の売却等による自主財源の確保を図りたい。

② 真に必要な訓練とは、地震、火災等の各種災害の発生に際し、町民がそれらに即応出来る訓練と考えている。

来年度の訓練計画は、今までの意見や東日本大震災の教訓を参考にし、今後、区長会、自主防災組織、宝達志水消防署等の関係機関と協議を進めていきたい。

志雄病院と押水クリニックを一つの会計に

町長

現段階では考えていない

問

① 人口減少の対策と成果について。
② 医療の一元化について。
③ 宝達山の登山道中腹の煙について。

答 町長

① 公債費の負担が重くのしかかる現状で、次世代への将来負担が過重なものにならないよう、財政健全化を最優先課題に取り組まなければならない。

引き継がれる資産が、将来のまちづくりの足かせとなる負の遺産とならないよう、次世代が求める住民ニーズに的確に 대응する行政機能の環境整備も進めていくべきと考えている。

② 志雄病院は、町内唯一の有床医療機関として救急医療など急性期も担い、押水クリニックは地域のかかりつけ医として、それぞれの役割に尽した医療サービスを提供している。



志雄病院

一つの会計にすることは、押水クリニックが志雄病院の分院になることであり、現在でも、医師や看護師の確保に苦慮している問題点もあることから、現段階では考えていない。これからも、協働体制を維持し、合理化による健全経営に努力したい。

③ もみ殻くん炭製造による煙であり、この製造過程で発生している煙が、宝達山の開発や環境を阻害するものであってはならないと考えている。

輪島市や石川県が持つ景観条例、町もそういうものを設けて規制出来ないか、今後、検討したい。



宮本 満 議員

委員会ノート

第1回定例会会期中の審査内容

総務産業建設常任委員会

問 町の観光資源の収集・編集事業。

答 町の観光資源の収集・編集事業。20 haから30 haの面積を

問 広域農道の修繕は補助

町長車の購入車種は。

考えている。集積した

災害にはならないのか。

答 ワゴンタイプのハイブ

率によって補助金を支

答 県では、基本的に通行

リット車を念頭に置いて

給。

できるところは補助災

害に取れないとのこと。

問 新規就農総合支援事業

最終的に補助基準額の

料の内容は。

問 新規就農総合支援事業

40%の補助を受け、県

主なもの、住民情報

分。対象は45歳未満で、

単土地改良事業で実施

系システムと内部系情

マスタープランに載せ

する。

報システムのサーバの

て給付していくことに

リース料。

問 街灯設置の場所は。

なる。

問 今浜、北川尻、荻島地

内を予定。

問 住民主導型ふるさと振

問 松くい虫対策は。

興事業の支援団体は。

問 デマンドタクシーの利

問 国定公園を主に防除。

それ以外は、県が高度

答 まだ決まっていない。

公益・地区保全松林の

指定しているところに

答 役場庁舎の改修計画、

補助をしていきたい。

問 高生産性農業集積促進

事業とは。

事業とは。

問 高生産性農業集積促進

事業とは。

事業とは。

問 高生産性農業集積促進

事業とは。

事業とは。

問 高生産性農業集積促進

事業とは。

事業とは。

問 高生産性農業集積促進

事業とは。

事業とは。

問 高生産性農業集積促進

事業とは。

事業とは。

問 高生産性農業集積促進

事業とは。

事業とは。

問 高生産性農業集積促進

事業とは。

事業とは。

問 高生産性農業集積促進

事業とは。

事業とは。

問 高生産性農業集積促進

事業とは。

事業とは。

問 高生産性農業集積促進

事業とは。

事業とは。

問 高生産性農業集積促進

事業とは。

事業とは。

問 高生産性農業集積促進

事業とは。

事業とは。

問 高生産性農業集積促進

事業とは。

事業とは。

問 高生産性農業集積促進

事業とは。

事業とは。

問 高生産性農業集積促進

事業とは。

事業とは。

問 高生産性農業集積促進

事業とは。

事業とは。

問 高生産性農業集積促進

事業とは。

事業とは。

問 高生産性農業集積促進

事業とは。

事業とは。

問 高生産性農業集積促進

事業とは。



広域農道の被災箇所



改修する役場庁舎

い。

問 不法投棄の状況は。

答 監視員4人が月2、3

回パトロールを実施。

新たな情報が入ってき

たら職員でもパトロー

ルを実施している。

問 消防自動車の更新計画

は。

答 最も古いのは、平成5

年導入の第2分団車。

更新時期はおおよそ20

年をめどにしている。

問 消防ホースの集落要望

は。

答 24年度は、米出、二口、

森本、小川、今浜、三

日町、麦生、杉野屋。

問 防災行政無線の実施設

計とは。

答 親局を役場に置き、全

域に無線が届く中継局

が必要のため、実際に

電波が届くか調査し設

計するもの。

問 イノシシで困っている

集落数は。

答 昨年4月から8月の間

に、12集落から出没の

報告があった。

らいか。

問 一般的な価格として1

mあたり200円から

250円。補助金につ

いては、購入金額の

50%以内を考えてい

る。

問 土石災害ハザードマッ

プとは。

答 土石災害特別警戒区域

をレッドゾーン、土砂

災害警戒区域をイエ

ローゾーンで表示す

る。

問 志雄地区は24年度に作

成するが、押水地区の

作成は。

答 石川県砂防課の基礎調

査が終了したところか

ら、順次、作成するよ

う指導を受けている。

押水地区は今年基礎調

査、来年作成の予定。

問 下水道の加入率は。

答 処理場単位での公共下

水道の加入率は、今浜

90・08%、北川尻91・

85%、志雄77・57%、

樋川55・24%。

問 緊急雇用創出特別事業

重点分野雇用創出事業

とは。

問 現場整備を行った地域

への支援。農地を集積

し耕作しやすくするも

教育厚生常任委員会

問 学校の臨時職員賃金の有無は。

答 用務員が正職員は人件費、臨時職員は賃金。

問 在宅当番医制事業とは。

答 日曜、祝祭日の休日当番医のこと。

問 町福祉団体部会活動費の補助団体は。

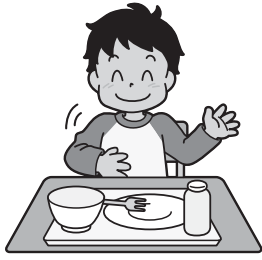
答 遺族会、身体障害者福祉協会、母子寡婦福祉会、手をつなぐ育成会、リハビリテーション友の会。

問 志雄中学校のナイター設備撤去は。

答 電球の枠の部分を撤去。電柱はそのまま残す。

問 学校給食を味のやほたに業務委託している学校は。

答 全小中学校。



特定健診

本台帳の作成が義務づけられた。

問 外国人の人数で、改修費は異なるのか。

答 人数は関係ない。

問 統合中学校建設事業の地質調査委託料は。

答 建物を建てる場所に、深さ15mで4本のボーリング調査を行う。地震に耐えるための杭を、どの位の深さで打てばいいかを調べる調査。

問 地区文化推進員の数は。

答 50集落に委嘱。

問 石川県市町村対抗ふるさと駅伝大会に出場するののか。

答 町の陸上をしている方から、出場したいと、選手名簿、練習計画が提出されている。

問 計算方法の中に人口割りがあり、本町の人口減少によるもの。

問 女性の会、文化協会の会員数は。

答 女性の会は26地区から会員が出て組織。会員数は、250人前後。文化協会は34団体で、会員数は370人。

問 配食サービスの業者は。

答 押水地区はキッチンクラブおしみず。志雄地区は配食サービスのぞ

み。

問 介護保険料を値上げしないなら、いくらのお金が必要なのか。

答 約5800万円。

問 保育料の滞納状況は。

答 現年度分で比べると、減ってきている。

問 公立羽咋病院負担金には、今、行っている耐震工事費用も入っているののか。

答 現負担金には含まれていない。

問 七尾人権擁護委員協議会負担金の減少理由は。

答 計算方法の中に人口割りがあり、本町の人口減少によるもの。

問 女性の会、文化協会の会員数は。

答 女性の会は26地区から会員が出て組織。会員数は、250人前後。文化協会は34団体で、会員数は370人。

問 配食サービスの業者は。

答 押水地区はキッチンクラブおしみず。志雄地区は配食サービスのぞ

み。

問 介護保険料を値上げしないなら、いくらのお金が必要なのか。

答 約5800万円。

病院運営特別委員会

問 押水クリニックの24年度歳入予算が増額している内容は。

答 健康診断の診療報酬と産業医派遣収入の増加。

問 志雄病院事業会計繰出金は全額か。

答 基準どおり全額。

問 病床数の内訳は。

答 一般病床が60床、療養型病床が40床で、医療と介護が各々20床。

問 療養型病床の介護の分は、23年度で廃止になるののか。

答 政策が変わり、平成29年度まで延長。

問 志雄病院の医療機器の購入は。

答 手術室の麻酔ワークステーションの更新、全自動洗浄消毒装置など。

問 病院建設基本構想委員のメンバーは。

答 関連病院の院長、教授クラス、郡市の医師会、町団体の代表者などで約8名。

問 志雄病院でレセプト点検を審査機関に提出し、過誤として減額となる金額は。

答 今年の1月分では17万円の減額。医師と審査するほうの見解の相違であり、違法で査定されたわけではない。



委員会視察報告書

総務産業建設常任委員会 教育厚生常任委員会

3月12日
～14日

少子化対策、地域振興事業など、本町の喫緊の問題に
対処すべく、総務産業建設常任委員会と教育厚生常任
委員会が合同で視察を実施しました。

『新たな出会い応援事業』（婚活支援）

公益財団法人 福岡県地域福祉財団（福岡市）

福岡県「新たな出会い応援
事業」は、少子化対策の一環
として、結婚したい気持ちは
あっても出会いの機会が少な
い独身男女に、出会いの場を
提供し結婚のきっかけづく
りをするもので、福岡県地域福
祉財団へ委託して実施してい
ます。

財団は、応援団体の企画書
に対するアドバイザーの役目
のほかメールマガジンやホー

ムページへの掲載など、企画
検討、PRを主に行っていま
す。

平成17年度に事業を始め、
平成19年度には専任職員を採
用し事業を拡大、平成22年度
では年間371件、延べ参加
者1万423人、現在の応援
団体数は305団体、メール
登録者数は5377人となっ
ています。

これまでの成婚報告は

167組であるが、実際には
その3倍ぐらいあるのではな
いかとのこと。

婚活イベントは、応援団体
が月1回から2回、県内全体
では20回から40回ぐらい開催
されています。

ボランティアを基本として
低料金となっていることか
ら、きれいなホテル、会費が
安い、バスツアーを好む女性
の申し込みが多いそうです。
結婚してもらうことを優先
との考えにより、県外からの
申し込みも受け付けていま
す。

婚活パーティーの実施方法
など、参考になりました。



福岡県地域福祉財団にて

『このとりのゆりかご』（赤ちゃんポスト）

医療法人聖粒会 慈恵病院（熊本市）

諸事情によって育てること
のできない新生児を、親が匿
名で養子に出すための赤ちゃ
んポスト「このとりのゆり
かご」を設置している熊本市
にある慈恵病院を視察しまし
た。

病院の向かい側に建てられ
た「マリア館」に設けられた
「このとりのゆりかご」
は、産科や小児科の入り口と
は別に専用の入り口があり、
建物の裏側への通路を行った
ところに設置されています。

看板には「預ける前チャイ
ムを鳴らして相談ください」
と書かれており、相談受付
カードなども置かれているほ
か、扉の中にも手紙が置か
れ、それをとらないと預けら
れない仕組みにするなど、相
談することを強く勧めていま
す。

平成18年12月に設置申請を
熊本市に提出し、翌年4月に



このとりのゆりかご

許可され、5月に完成し運用
を開始しました。

最初は人目につきにくい病
院東側に扉をつくり、保育器
が置かれていたそうです。

預けられた子供は慈恵病院
が健康状態を確認し、その後
県内の乳児院に移されます。
平成19年度からの4年間で
75件の利用があり、九州以外
が38人、理由は、生活困窮、
未婚、世間体・戸籍などと
なっています。

相談事業に力を入れてお

り、担当の看護部長のほか3人の相談員が、フリーダイヤルによる24時間での電話相談も受け付けており、平成19年度からの4年間に日本全国から2077件の相談があり、電話が9割となっています。最近では預けられた子供を、一般家庭へ特別養子縁組する

方法をとっているそうです。置き去りや虐待で亡くなる子供が多く、少子化対策とは命を助け子育てしやすい社会にすることであり、行政による母子手帳の出産確認の要望があり、当町においても取り組むべき課題であります。

『うと創作お茶漬けプロジェクト』

宇土市・宇土市観光物産協会〔熊本県〕

「うと創作お茶漬けプロジェクト」は、平成20年に宇土市職員有志によりスタートしました。

で100日間のスタンプリーを実施し、売り上げは469万円、4800食であったが、開催期間が長く食

宇土市にはインパクトのある食べ物がないことから、まちの活性化の起爆剤となる個性ある「食」を作って売り出そうと考え、地元の農・海産物の利用、飲食店のジャンルを問わないもの、日頃の食材を活用、他の地域にないものとして、「お茶漬け」を選び、「創作お茶漬けの街」として売り出した。



宇土市役所にて

対応にも苦慮しました。2年目からは2か月間、実施主体を宇土市観光物産協会とし、スタンプリーの対象も3店舗以上から1店舗と変更しましたが、売上額が4分の1、食数が3分の1と落ち込んでしまいました。

4年目の昨年は、新たに市内の御興来海岸にちなんでマテ貝を「おこしき貝」と銘打ち、その創作料理を追加し、名称も「うと創作うまかもん」と変更、今年3月には「おこしき貝フェア」を開催、26店舗により回遊をねらいとした他店舗のみ使用可能な割引券を発行しています。

また、宇土市では新たな観光の目玉にとキラシタン大名「小西行長」をテーマに、マスコットキャラクター「うとん行長しゃん」を広告塔にして取り組んでいます。

当町の「オムライスの郷プロジェクト」推進に大いに参考となる事例であった。

議会改革特別委員会 広報編集特別委員会

3月28日
～29日

永平寺町議会〔福井県〕

永平寺町議会は「行動する議会」「開かれた議会」「提案する議会」の3本柱で真の二元代表制の確立を目指し、議会改革を進めています。

最近の取り組みとしてはメールやグループウェアを活用したIT化を推進しています。



永平寺町役場にて

ケーブルテレビ中継は、本会議と予算特別委員会を生中継と録画で放送しています。

ホームページは、独自の構成で議会が分かり易いものとなっています。

議会だよりは、11人で構成

する広報特別委員会により発行しています。

永平寺町議会での取り組みは、当町議会の改革や広報発行の参考となるものでした。

福井県町村議会議長会〔福井市〕

福井県自治会館内にある議長会を訪問し、県内各町議会の現状や改革の動向調査と、議会運営に関する諸問題への

対応策を研究しました。

担当職員の説明や意見交換などにより、課題解決に向けた情報を得られました。

町議会日誌

1月～3月

〔1月〕

- 5日 新年互例会
- 7日 消防団出初め式



- 8日 成人式
- 12日 議会改革特別委員会
- 15日 内灘町町制施行50周年記念式典
- 18日 広報編集特別委員会
- 議会運営委員会
- 中学校建設特別委員会
- 羽昨青年会議所新春交流会

- 19日 全国町村監査委員協議会会長・局長懇談会

- 20日 全国町村監査委員協議会定期総会

- 24日 県町村議会議長会臨時総会

- 25日 例月出納検査

- 28日 町体育協会功労者・優秀選手表彰式

- 31日 国民健康保険運営協議会

〔2月〕

- 13日 営委員会

- 14日 自衛隊入隊予定者激励会

- 14日 議会運営委員会

- 14日 県市町村消防賞じゅつ金組合議会

- 14日 県市町村消防団員等公務災害補償等組合議会

- 15日 県自衛隊入隊入校予定者激励会

- 16日 県監査委員協議会理事会・総会・研修会

- 17日 議会運営委員会

- 17日 町議会臨時会

- 19日 町議会全員協議会

- 19日 千里浜再生プロジェクト2012「千の詩」未来へのメッセージ」

- 21日 議会改革特別委員会

- 21日 郡市広域圏議会全議員協議会

- 23日 羽昨市町議会議長・広域圏事務組合議会議長合同懇談会

- 23日 石川北部RDF広域処理組合議会

- 27日 定例会

- 27日 例月出納検査

- 28日 広域圏議会運営委員会

- 29日 広域圏議会定例会

- 29日 中学校建設特別委員会

- 29日 広域圏議会運営委員会

- 29日 広域圏議会定例会

- 1日 議会運営委員会

- 2日 町議会定例会

- 2日 宝達高校卒業式

- 5日 病院運営特別委員会

- 5日 教育厚生常任委員会

- 7日 総務産業建設常任委員会

- 7日 中学校卒業式

- 9日 議会運営委員会

- 10日 町議会定例会

〔3月〕

- 16日 小学校卒業式

- 17日 保育所修了式

- 19日 町土地開発公社理事會

- 21日 朝ごはん運動推進本部会

- 21日 渚会理事會

- 23日 県町村議会議長会

- 26日 議長協議会

- 26日 県市町議会議員公務災害補償等組合議会

- 27日 例月出納検査

- 27日 県後期高齢者医療広域連合議会定例会

- 28日 議会改革特別委員会・広報編集特別委員会合同視察

- 28日 議会改革特別委員会

- 28日 議会改革特別委員会

- 28日 議会改革特別委員会

- 28日 議会改革特別委員会

- 28日 議会改革特別委員会



議会を傍聴しませんか

町民の皆さんに議会活動の内容を広く知っていただくために、議会の傍聴をお勧めします。傍聴する前に、議場入り口で、氏名、住所、年齢の記入をお願いします。
問い合わせ 議会事務局 TEL29-8310



- 広報編集特別委員会
- 委員長 津田 勤
- 副委員長 林 一郎
- 委員 北 信幸
- 委員 宮本 満